



東京立川 ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 渡辺博昭副委員長

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『4つのテスト』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【幹事報告】 田中 太幹事

【委員会報告】

職業奉仕委員会 矢澤貴光副委員長

社会奉仕委員会 金子幹広副委員長

青少年奉仕委員会 木村真人委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 古屋佳男委員

【出席率の発表】 井上修一委員長

| | | |
|----------|--------------|--------|
| 8月25日(金) | 会 員 数 | 107名 |
| | 出 席 義 務 会 員 | 101名 |
| | 出 席 免 除 会 員 | 6名 |
| | 当 日 出 席 者 | 95名 |
| | 出席免除会員の当日出席者 | 3名 |
| | 出 席 率 | 91.35% |
| | 8月18日の出席率 | 休 会 |

【立川・サンバーナディノ

姉妹市委員会帰国報告会】

【司会進行】 国際奉仕委員会

小松 剛副委員長

【閉会点鐘】 中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライスリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



例会時には必ずバッジをつけましょう

Weekly Report

2017.8.25 第2760回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

さて「Phrase of the day」の時間としたいと思います。先月お話しした「Keep company with」を覚えていますか。先日尾内直前会長と平井副幹事より朗報を頂き、実際に使ってみて外国人も喜んで聞いてくれたと好評をいただきました。調子に乗って続けてみたいと思います。FEN窪田ひろ子ではなく、中野裕司の「Today's phrase」で始めたいと思います。それでは皆さん韻を踏みましょう。“Let's start the exercise” Today's phrase is “On the other hand~”ここでのthe other handは「もう片方の手」という意味ではなく「これに反して、逆に」という意味に訳します。“on one hand”「一方では」という“Idiom(熟語)”とセットで覚えると良いでしょう。これは接頭句として用いられ、例を上げますと、“On the other hand,I think~”という具合に「それとは逆に、私はこう考えます」という様に使います。英語圏の人たちは日常でもよく使いますので、覚えていると便利だと思います。くだらないと思わず、是非チャレンジしてみてください。



中野裕司会長

That's all for today.I want you to have a good weekend.And take care of yourself.See you next week!!! 以上会長挨拶でした。

【お客様の紹介】 中野裕司会長

市川和子様<立川・サンバーナディノ姉妹市委員会 副委員長>

植村うめ子様<立川・サンバーナディノ姉妹市委員会 事務局長>

小林愛奈様<29年度派遣高校生>

高橋実来様<29年度派遣高校生>

森山華帆様<29年度派遣高校生>



司会進行
渡辺博昭副委員長



ニコニコの発表
古屋佳男委員



出席率の発表
井上修一委員長



帰国報告会 司会進行
小松 剛副委員長

【幹事報告】 田中 太幹事

●18日金曜日、第1回青少年奉仕委員会の炉辺が、「雅」にて開催されました。●本日メールボックスに、基本資料及び会員名簿に関する正誤表を配布させて頂きました。該当部分をご訂正頂きますようお願い致します。●前回例会でもお話をさせて頂きました、全員クラブ協議会のアンケートをメールボックスへの配布させて頂き、メールにて配信させて頂いております。率先して回答頂きますよう、お願い致します。●現在、実施しておりますクールビズですが、環境省が定めた期間と同様に9月30日までをクールビズ期間とさせて頂きたいと思っております。ご了承願います。



【委員会報告】

職業奉仕委員会 矢澤貴光副委員長

10月27日(金)に開催されます、第2768回例会優良職業人並びに社会奉仕功労者表彰につきましてPRさせて頂きたく思います。本日メールボックスにて資料を配付させて頂いておりますが、立川地域において職業を通じ社会に貢献されている方々、またボランティア活動等を行っている方々の功績に敬意を表し表彰させて頂くものであり、該当する方のご推薦を頂きたいと思っております。別紙に推薦用紙が添付されておりますので、ご記入の上9月16日(土)までに事務局にご郵送またはFAXにて送付頂きたくお願い申し上げます。不明点等ありましたら、職業奉仕委員会中山委員長、社会奉仕委員会木村辰幸委員長までお願い致します。



社会奉仕委員会 金子幹広副委員長

矢澤副委員長から報告がありましたように、同日の同例会にて社会奉仕功労者の表彰がございますので、皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員会 木村真人委員長

インターンシップ受け入れの募集につきましてですが、現在10社程のご応募を頂いております。本年11月14日～16日のうち2日間以上でお願いしております。まだ今月末まで募集しておりますので、これからもご応募の程お願い申し上げます。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 古屋佳男委員

- 立川・サンバーナディノ姉妹委員会様 本日は、学生の帰国報告を開いて頂き有難うございました。
- 中野裕司会長 立川・サンバーナディノ姉妹委員会 副委員長 市川和子様、事務局長 植松うめ子様、そして派遣高校生の皆様、ようこそおいでくださいました。帰国報告会、楽しみにしています。
- 田中 太幹事 立川・サンバーナディノ姉妹委員会の皆様のご来訪を歓迎致します。サンキッズの皆さんのBe surprised!!な経験のご報告、楽しみにしています。宜しくお願い致します。

●並木 光治さん 帰国報告会、開催ご支援に御礼申し上げます。

本日合計 30,000円 本年度累計 662,000円

立川・サンバーナディノ姉妹委員会帰国報告会

【挨拶】 国際奉仕委員会 町田 弘委員長

本日の帰国報告会が開催出来ます事、大変有難く思います。まずは交換高校生の皆様が元気にご無事で帰国されました事、大変嬉しく思います。また長年にわたり、並木委員長、市川副委員長、村野副委員長、植松事務局長が立川RCのバックアップの基に大変なご尽力を頂いております事に感謝申し上げ、国際奉仕委員会からの挨拶と致します。



立川・サンバーナディノ姉妹委員会 委員長 並木光治様

皆様方から特別会員として会費を頂戴するご支援により、毎年この派遣高校生の事業が継続できておりました、本日も交換高校生から報告をして頂きます。わずか一ヶ月ではありますが、大変遅くなって帰国されている高校生の報告をお聞き頂いて、更に姉妹委員会へのご協力と、引き続きの長いご支援の程お願い申し上げます。



【29年度 派遣高校生報告】 小林愛菜さん

私は立川高校2年の小林愛菜です。私は1ヶ月前とても緊張してロサンゼルス空港に降り立ちました。けれどもそんな私を、ホストファミリーは優しい笑顔と温かいハグで快く歓迎してくれました。何枚ものウェルカムボードを持って私の名前を呼び、待っていてくれた光景は決して忘れません。私のホストブラザーのJakeはとても優しい男の子で、いつも少しの日本語と簡単な英語で、私が理解しやすいように話してくれました。最後の方になると私のおかしな英語でもJakeには伝わるのか、ほんの少し話ただけで私の思っている事を、家族や友人に伝えてくれるようになりました。Jakeはとても真面目な性格で、アメリカに戻っても日本語の勉強を続け、何度も分からない日本語について私に聞いてきました。お父さんは毎日私の知らないものを見せて教えてくれました。また私が困っているとすぐに気づいて助けてくれました。お母さんはとても料理上手で、アメリカやメキシコの食事を教えてくれました。またお母さんはとても陽気な方で、面白い事をしていつも私を楽しませてくれました。お父さんとお母さんは2人ともJakeと弟のJaxonが通うカホン高校の先生で、お父さんは英語、お母さんは生物を教えていましたので、アメリカの学校について色々な事を教えてくれました。また日本の高校について



とても興味津々で、お互いの国の学校についてたくさん話し合いました。弟のJaxonは私にたくさんのアメリカのスイーツや流行っているゲームについて教えてくれました。私には男の子の兄弟がいないので、Jaxonの存在がとても新鮮で嬉しかったです。私のホストファミリーは本当に暖かくてこのような素晴らしい家族と出会い、また一員になれた事は私にとって最高の幸せです。生まれた国は違えども、家族になれるということを実感しました。それから、Jakeを通して多くの友達もできました。その友達たちは、会った事のない私のためにたくさんのギフトと心のこもった手紙を準備してくれました。何回か学校を訪ねた時もずっと前から友達だったかのように話しかけてくれたり、一緒にいて笑わせてくれたりしました。会話の中で、彼らは自分の将来についてしっかりとした目標を持ち、それを恥ずかしがることなく友達同士で語り合っていました。彼らのその姿はとてもかっこよくて、私も彼らのように自分の将来について自信を持って語れるようになりたいと刺激を受けました。私はホストファミリーや新しい友達、委員会に携わる方々と日々交流していく中で、アメリカ人の良いところをたくさん発見する事ができました。特に相手の良いところを、いいね!と声に出して伝えたり、誰とでも分け隔てなく挨拶を交わしたりというところは、一見簡単そうなことだと感じるかもしれないが、寛大で広い心を持っていなければ思っても言動にすることはとても難しく、素晴らしいことだと尊敬しました。私はファミリーデーを通して、サンフランシスコや世界遺産であるヨセミテ国立公園、ラスベガスに連れて行ってもらいました。最も印象に残っている事は、ヨセミテ国立公園にあるヴァーナル滝を見に家族でハイキングをした事です。ハイキングでは断崖絶壁や緑豊かな自然、迫力満点の滝を、夜には満点の星空を見ました。アメリカの広大な自然に感動し、世界の広さを強く実感しました。サンフランシスコやラスベガスに訪れた時は、同じアメリカでもサンフランシスコとラスベガスでは、気候やそこにいる人々は全く異なり驚きました。サンフランシスコではゴールデンゲートブリッジやベイなどを観光し、ラスベガスではカジノやビートルズのショーを見ました。私はファミリーデーを通して、視野が広がるという感覚を始めて実際に体験しました。1ヵ月間滞在して、日本では経験できないような貴重な経験をたくさんさせてもらいました。生活に慣れてくると、会話もだんだんと弾むようになり、様々な人々の考え方や価値観を知ることができました。それらは物事を考える上で今までの自分であれば、思いつかないような新しい視点を与えてくれました。アメリカでの経験は間違いなくこれからの将来に役立ち、様々な場面で支えてくれる事でしょう。また、アメリカで築いた家族や友達との関係も、これからも発展させていけるように大切にしたいです。「一期一会」この言葉を強く感じた1ヵ月間でした。最後に、これからも英語の勉強によりいっそう励み、将来世界と関わっていけるように、学んだことをフルに活かしていきたいです。今回このような素晴らしい機会を与えてくださり、立川ロータリークラ

ブを始め、多くの支援をしてくださった皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

高橋実来さん

洗足学園高等学校1年の高橋実来です。この2ヵ月間は今までに経験したことのない、とても価値あるものでした。このような素晴らしい機会を与えてくださり、そして支えてくださったロータリークラブの皆様を始めとする諸団体の皆様に感謝申し上げます。アメリカの文化や習慣を肌で感じ、理解をし、英語のスキルアップをする。そして、日本を伝えるという課題を持って渡米しました。私のホストシスターのサマンサは、日本にいた時は可愛い女の子で、1つ年上ですが年齢の差をあまり感じずに接していました。しかし、アメリカではとても頼りになるお母さんのような存在で、いつも「ダイジョーブ?」と聞いてくれました。サマンサの家族は25歳のお兄さんが自立しているので、お父さん、お母さん、サマンサ、私と犬2匹との生活が始まりました。サンバーナディノ市は暑くて乾燥していると聞いてはいましたが、やはり行ってみると日本とは異なっていて、湿度が低く汗が出るのが減多になく、とても過ごしやすかったです。アメリカ滞在中は1度も雨が降らなかったほど乾燥している地域のため、水が大切であることを教えてくれました。日本では当たり前のように毎日している洗濯は当たり前ではない、そんな生活習慣を学びました。アメリカ人はフレンドリーでコミュニケーション能力が高いと感じました。買い物中に食べ物を眺めていたら、お姉さんにいきなり声をかけられ、服装を褒められた時はとても驚きました。アメリカではレジの人と挨拶する事が当たり前で、知らない人同士が気軽に話している姿もよく見かけました。日本では知らない人とコミュニケーションを取る事はなかなかないので、とても新鮮で楽しく感じました。そして、他人にも関心を持ち積極的に関わることでフランクな関係が築けるのだな、と学びました。私の1番印象的だった事は、食文化の交流です。ホストファミリーは私にたくさんの美味しい食べ物を食べさせてくれました。特にタコス、ブリトーやクランチラップ等のメキシコ料理をたくさん教えてくれました。私も親子丼、味噌汁、緑茶や梅などの日本の食文化を紹介しました。親子丼の鶏と卵が親子であるという名前の説明をした時、サマンサが、「かわいい」と気に入ってくれました。サマンサも日本からのお土産のえごまふりかけを家族に紹介していて、日本の食文化が広がっていくような気がしてとても嬉しく思いました。家族で過ごす週末で行ったグリファス展望台では、ロサンゼルスを一望することができました。夜の景色は灯りによって辺り一面がオレンジ色で、ロサンゼルス市内は基盤の目のようでとても美しかったです。アメリカでの1ヵ月間、日本にいただけではなかなか感じることでできない、自分とは異なった価値観を感じる事ができました。アメリカでの体験を通して、日本の常識だけにとらわれず柔軟に受け入



れたことによって、視野が広がっていったと思います。この経験を生かし将来の可能性を広げたいです。そして、英語での会話が円滑にできるよう、日々勉強に精進していきます。最後に、多くを挑戦し、学び、成長のできる経験の場を与えて下さった皆様に、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

森山華帆さん

早稲田大学系属早稲田実業学校高等部1年の森山華帆です。私はドミニクグティエズのホストシスターとなり、ドミニクと日本で4週間過ごした後、7月の末から4週間カリフォルニア州サンバーナディノで過ごしました。私は実際にホームス



テイする前に目標を3つ立てました。1つ目は積極的に異文化を体験すること。2つ目に英語力を上げるよう積極的に会話をする。3つ目に日本の文化を積極的に伝えることです。この3つの目標を立て、いざ羽田空港から飛行機に乗ろうかという時、私は少し不安になってきました。アメリカの家族の中で私の英語力でやっていけるのだろうか。まだ会ったことのないドミニクの家族と、1か月もうまくやっていけるのだろうか、と考えていました。でも、ロスの空港でアメリカの家族の出迎えを受けた途端、不安や緊張が一気に吹き飛びました。それはドミニクと1ヶ月の間に築いた信頼関係があった事、おおらかな雰囲気、「kahoいらっしゃい!!」と満面の笑みで家族全員が出迎えてくれたからだと思います。ドミニクは弟と妹がいるし、私も妹が2人に弟もいて、家族が多くにぎやかなところなどたくさんの共通点がありました。みんなにハグされアメリカを実感しました。そして、ドミニクの親戚の方々までたくさん集まり、ウェルカムパーティーを開いてもらいました。異文化を体験するなんて立てた目標は吹っ飛び、異文化の中に飛び込んだ!!と言える日々でした。また、ドミニクの家は先祖はスペイン語圏の方々の、英語もスペイン語も話することができる人がたくさんいました。それが当たり前で日常であることに驚いたり、楽しいと感じました。私もスペイン語での挨拶を覚えました。日本では学校や塾で英語を必死になって学び、リーディングはできてもスピーキングができにくいとか、リスニングが苦手とか、苦手意識ばかり増えていく勉強方法がなんだかおかしいなあ、と感じました。また、ドミニクの家族はいつも私のことを気にかけてくれて、希望を聞き出してくれました。バスケットボール部だと言えば、チケットを手配してNBAを見に連れて行ってくれたり、ハリーポッターが好きだと聞けば、ユニバーサルスタジオに連れて行ってくれたり、不夜城のようなラスベガスに行ったり、毎週のように観光地に出かけま

した。それから、湖でカヌーに乗ったりハンティントンビーチで泳いだり、焚き火をしたり、美しい川でデイキャンプをしたり、スケールの大きいアクティビティーをどんどん体験させてくれました。そういうふうに家族の一員としてリラックスできたので、日本の食事を作ったり日本の食事を披露するだけでなく、みんなで手を合わせていただきます、ということなどを上手に紹介することができました。ドミニクの家族はみんな優しくノリが良くて、とても楽しい思い出となりました。毎日、たくさんの経験が出来、あつという間に4週間が経とうとする頃には、もっといたいなあと思っている自分がありました。最初にカチンコチンの頭で立てた目標はなんだかちっぽけに思いました。そして、アメリカは広く大きく可能性に満ち、自由だけど責任も重い社会だということがなんとなく把握できてきました。私のホストブラザーのドミニクは政治家になる夢を持ち頑張っています。そして、パパやママ、グランマなどみんなが応援していました。そして、この本当に素敵なホストファミリーを通して私の家族もいつも私のことを応援してくれていることが、再確認できたような気がします。今回この貴重な経験を生かし、語学だけでなく、歴史的背景や多民族国家等についても知識を増やし、次にアメリカに行く時にはもっと大きな目標を持てる自分になれるよう、日々努力したいと思います。最後に、ご支援くださいましたロータリークラブの皆様、姉妹市委員会の皆様、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

【総評】 立川・サンバーナディノ姉妹市委員会 副委員長 市川和子様

皆様、三人の報告はいかがだったでしょうか。とても良かったと思います。今年度は応募者が約10名でその中から筆記試験と面談を経て3名が選抜され、3月にはオリエンテーションを開催しましたが、その時に「皆さんは貴女を見て日本を知るのだ」という事を伝えて準備を致しました。6月25日にアメリカからタチキッズ3名が来日し、7月22日まで滞在しましたが、その間6月30日に昭和第一学園高校を訪問し、7月4日には委員会デーとしまして富士山方面へお連れしました。7月8日には皆様始め奉仕6団体の皆様に、都内見学に連れて行って頂きました。そして7月22日にこちらからの交換高校生とともに、羽田空港からサンバーナディノに向けて出発し、ホームステイの後8月20日に帰国しました。来年も1月4日から3月3日まで、高校1年から3年までと幅を拡げて募集致しますので、お知り合いの方がいらっしゃたら、是非説明会にご応募頂ければ幸いです。本日は有難うございました。



■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
■ 例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長